

年間指導計画

1・2歳児(組)

年度

(小規模保育事業等 参考資料3-2)

【年間目標(育みたい子どもの姿)】			<div>・ 全体的な計画に基づき、立案すること</div>		施設長	責任者 保育	担任					
発達過程	育つ姿 子どもの	1歳・2歳	1歳6か月・2歳6か月	2歳・3歳	2歳11か月・3歳11か月							
		<div>・ 月齢で大きく区分し子どもの育っていく姿(心の育ち, 身体の成長・発達, 言葉の発達など)を通して一年間の発達に見通しを持つ。</div>										
期		期(月～月)	期(月～月)	期(月～月)	期(月～月)							
ねらい	養護	<p>※ 指導計画は、養護と教育の視点をもって立案すること。</p> <p>「期」の区分については、園生活への適応状態、興味や関心の傾向、季節の変化、子どもの生活に変容が見られる時期を節とする。</p> <p>◎「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。</p> <p>◎「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助。</p> <p>○「ねらい」は、保育の目標をより具体化したもの。</p> <p>・子どもの生命を保持し、その情緒の安定を図るとめの保育士による援助や関わり</p> <p>・子どもが保育所において、安定した生活を送り、充実した活動ができるように、保育を通じて育みたい資質・能力を、子どもの生活する姿から捉えたもの。</p> <p>○「内容」は、「ねらい」を達成するために、子どもの生活やその状況に応じて保育士等が適切に行う事項と、保育士等が援助して子どもが環境に関わって経験する事項。</p>										
	教育											
内容	養護							生命の保持 情緒の安定				
	教育							健康・人間関係・環境・言葉・表現				
								食育				
【家庭・地域との連携】								<div>・ 子どもの生活の連続性を踏まえ、家庭と子育てについての相互理解を深める。</div> <div>・ 地域の機関及び団体の協力を得て、地域の自然、人材、行事、施設等の資源を積極的に活用する。</div>		【評価・反省】		
										<div>・ 子どもの姿を通して、具体的な取り組みや、援助、配慮が適切であったかなど、自己の保育を分析、考察して次へ生かしていく。</div>		